

# 液体ゴミ処理製品

名古屋市立大学/鶉飼ゼミ/  
スマイクル

---

正しい捨て方を広めるプロジェクト

4年 佐々木 夏帆  
小川 綾乃  
中山 里実

# 目次

---

背景

現状分析

目的・目標

スマイクルの活動経緯

提案内容

今後の展開

スマイクル



## 私たち自身

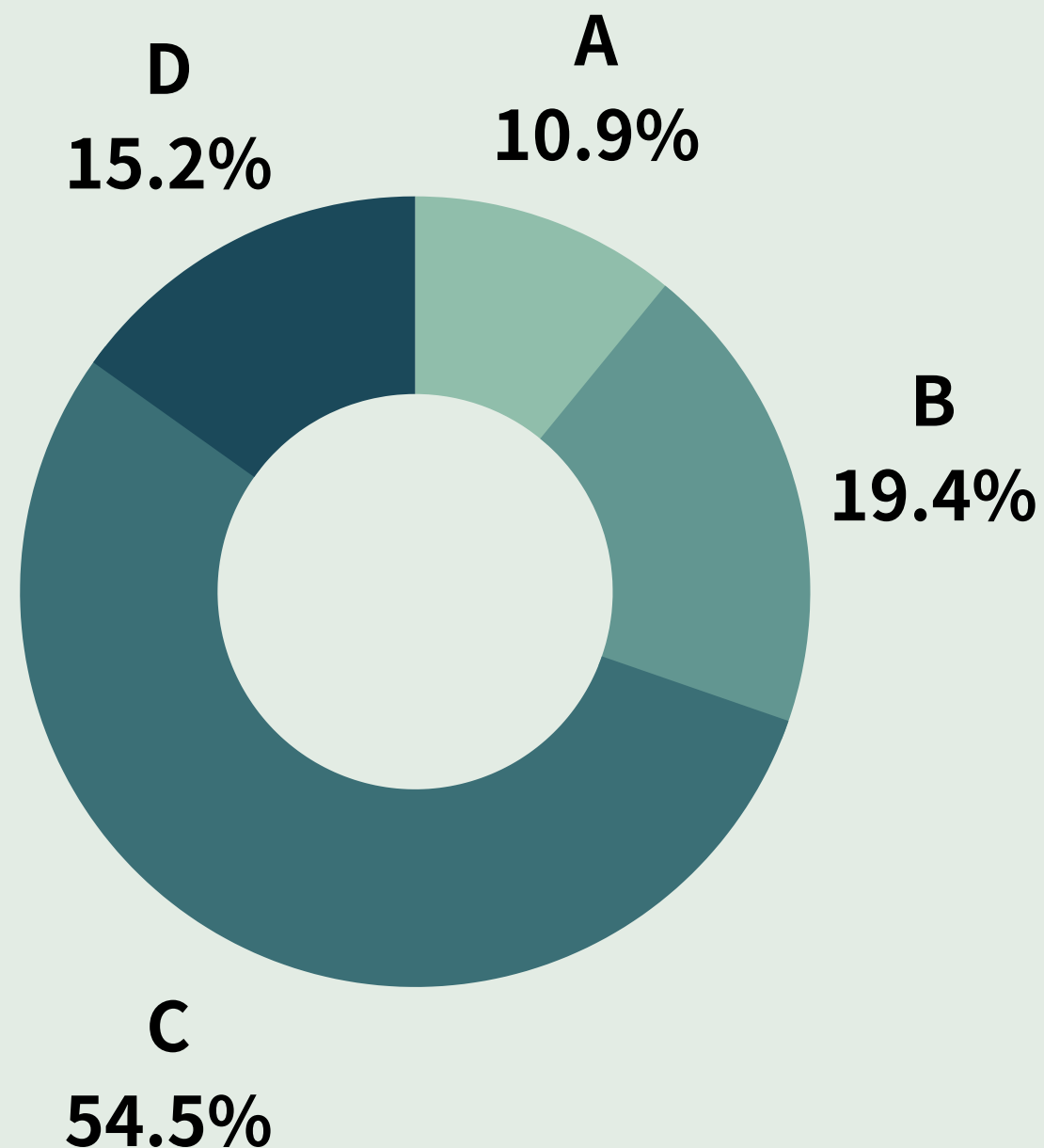
生活の中で意識してゴミの分別をしていない



## 大学内

カップラーメンの残り汁をトイレに流している  
食堂の専用バケツにそのまま捨てている

# ゴミ問題に対する意識



内閣府の世論調査より

- A) ゴミの問題を深刻に考えながらも、多くのモノを買い、多くのモノを捨てている
- B) ゴミの問題を深刻に考えているが、ゴミを少なくする行為やリサイクルに配慮する行動はしていない
- C) ゴミの問題を深刻に考え、ゴミを少なくする配慮やリサイクルを実践している
- D) いつもゴミを少なくする配慮やリサイクルを実践している

詰め替え製品を使う

買い物袋を持参する

すぐに流行遅れになったり飽きたりしそうな不要なものは買わない

食品を捨てないようにしている

(買いすぎ, 作りすぎをしない。生ごみを少なくするなどの料理法。消費期限切れなどの食品を出さない。)

壊れにくく, 長持ちする製品を選ぶ

# ゴミ削減のために 行っていることの 事例

---

内閣府の世論調査より

スマイクル





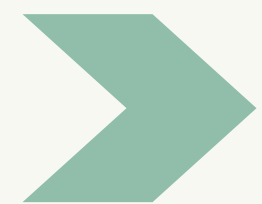
液体ゴミに対する配慮  
はあまりしていない



# 液体ゴミに対する配慮

項目	2017年
洗濯のときには洗剤の量を使わないようにしている	51.8%
天ぷらなどの揚げ物に使用した油は流しから流さないようにしている	49.9%
米のとぎ汁は流しから流さないようにしている	8.1%

ミツカン水の文化センター調べ



液体ゴミをゴミと認識しきれていない

# 目標



正しい捨て方を広める

液体ゴミの認知

使ったモノを責任を持って処理する

下水道処理場の負担を軽減する

環境意識の向上



# 液体専用ゴミ袋

カップラーメンの残り汁を濾過させ、  
きれいな液体は排水口へ  
濾過されずに残った残渣は  
袋ごと可燃ゴミに捨てる



1. 濾過に時間がかかる
2. 汁に溶けきった塩分や油は  
濾過素材を通り抜けてしまう

# 『油吸ってポイ』

## Point

1. 油のみを吸着させる
2. ひと手間で処理できる



# 展開

## SNSによる発信・販売

- 1) 液体ゴミについての知識を発信
- 2) オンラインでの商品購入を可能に
- 3) 動画を利用し、商品の使い方を紹介

スーパーやドラッグストア  
での常設販売・実演販売

液体ゴミを  
”捨てる”文化の創造

ご覧いただき  
ありがとうございました

名古屋市立大学  
鵜飼ゼミ